

阪南市の祭やぐら

令和元年 10月6日 日曜日 パレード
 10月13日 日曜日 波太神社宮入り
 10月14日 月曜日 菅原神社宮入り
 10月14日 月曜日 神輿渡御



【榮組】平成 2 年大工:岡川公一師、章師兄弟、彫師:木下頼定師によって新調。榮は「さかえ」と呼ぶ。(西鳥取地区)



【下出】平成 20 年大工:岡川章師、彫師:西澤大美術師によって新調。今年、黒田とともに神輿渡御を担う。(東鳥取四地区)



【波有手組】平成 2 年大工:岡川公一師、章師兄弟、柿野野師、彫師:木下頼定師によって新調。波太神社宮入り時のみ正面に大漁旗を掲げる。(西鳥取地区)



【相生町】平成 8 年大工:竹安建設、彫師:木下彫刻工芸によって新調。昔は曳行休止していたが平成 8 年より 35 年ぶりに復活。(尾崎地区)



【箱作東】平成 12 年大工:武輪建設、彫刻:坂本工芸によって新調。今年、下荘地区の宮当番として下荘地区のやぐらが菅原神社へ宮入りする。(下荘地区)



【貝掛】昭和 6 年大工:森下小一師、彫師:高松一門によって新調。今年新調 88 周年、米壽を迎えました。(下荘地区)



【自然田上組】平成 30 年大工:吉建設、彫師:木影山本によって新調。昨年新調したばかりのやぐらです。(東鳥取五地区)



【朝日町】平成 2 年大工:古川保師、彫師:春田欄間店によって新調。阪南市で唯一、吹き散りを付けています。(尾崎地区)



【鳥取中】平成 9 年大工:武輪建設、彫師:坂本工芸によって新調。昔は中と称していましたが明治 17 年に鳥取中と改称、しかし今でも中村と呼ばれています。(東鳥取四地区)



【黒田】大正 6 年大工:高松利平師、彫師:美濃村松雲師によって新調。今年、下出とともに神輿渡御を担う。(東鳥取四地区)



【石田宮本】平成 2 年大工:川端建設、彫師:木下賢治師によって新調。波太神社の御膝元ゆえ宮本と称する。(東鳥取四地区)



【尾崎宮本町】平成 5 年大工:成尾義一師、彫師:木下彫刻工芸によって新調。今年、竹安建設によって駒を新調しました。(尾崎地区)



【山中溪】令和元大工:井上工務店、彫師:木影山、木影前田工房によって新調。本年 8 月 25 日に新調入魂式を行ったばかりの一番新しいやぐら。(東鳥取五地区)



【大西町】平成 23 年大工:板谷工務店、彫師:木下彫刻工芸によって新調。板谷工務店の出世やぐらである。(尾崎地区)



【自然田上東組】平成 25 年大工:植山工務店、彫師:木影山本によって新調。小字で芝出とも呼ばれている。(東鳥取五地区)



【和泉鳥取】平成 25 年大工:金剛組、彫師:木影山、木影前田工房によって新調。旧東鳥取町時代まで新家と言う地名だった。(東鳥取五地区)



【箱作西】昭和 63 年大工:安田建設、彫師:坂本工芸によって新調。宮入りは地元の加茂神社へ宮入りする。(下荘地区)



【新町】平成元年大工:大津和三郎師、谷本暁師、見本利隆師、彫師:木下頼定師によって新調。令和 3 年、大工:泉谷工務店、彫師:木影前田工房によって新調予定。(西鳥取地区)



【自然田東組】大工:植山工務店、彫師:木影岸田によって新調。小字で中之場とも呼ばれている。(東鳥取五地区)



【西鳥取上組】平成 6 年に大工:古川工務店、彫師:坂本工芸によって新調。現在パレードへ不参加。(西鳥取地区)



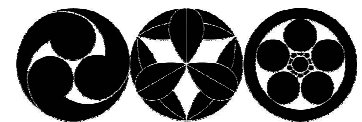
10月6日 日曜日



10月13日 日曜日



10月14日 月曜日



阪南市の祭・やぐら
<http://yagura.main.jp>

令和元年 9 月 1 日 第 2 版発行